

「富富富」の生育状況と技術対策

令和元年8月29日
農業技術課 広域普及指導センター

1 生育状況（穂揃期、実証ほ）

草丈は89cm、穂数は414本/m²、葉色は4.4（SPAD値35.2）で、草丈、穂数、葉色は前年並みとなった。

出穂期は前年よりも1日遅い8月3日となった。また、成熟期は9月13日と見込まれる。

表1 「富富富」の生育状況（穂揃期、実証ほ）

年次または 試験内容	ほ場数 (筆)	田植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色		出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)
				(本/株)	(本/m ²)		葉色板	SPAD		
R元	12	5月13日	89.3	19.2	414	13.8	4.4	35.2	8月3日	(9月13日)
H30	19	5月15日	91.2	18.3	401	13.8	4.4	35.6	8月2日	9月12日
H29	16	5月14日	87.9	19.0	395	13.7	4.5	36.9	8月3日	9月15日
前年比・差		-2	98	105	103	0.0	0.0	-0.4	1	(1)
早期田植栽培	6	5月4日	90.0	21.5	459	13.9	4.4	36.2	8月1日	(9月11日)
高品質安定栽培	6	5月15日	91.2	18.6	411	13.7	4.3	34.8	8月3日	(9月13日)

注) R元・平均: 生育観測栽培と高品質安定栽培・対照区(合計12ほ場)の平均
H30およびH29: 特別栽培米を除く、それぞれ19および16か所の平均

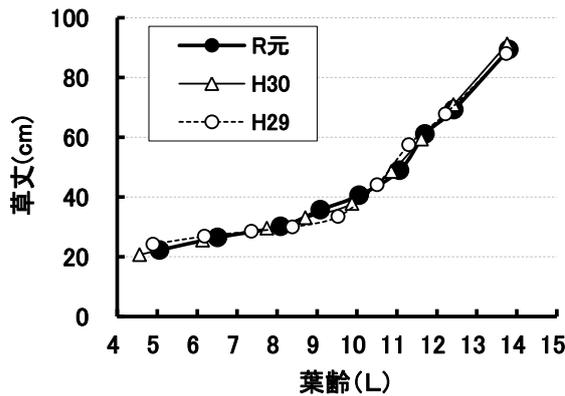


図1 草丈の推移（富富富実証ほ）

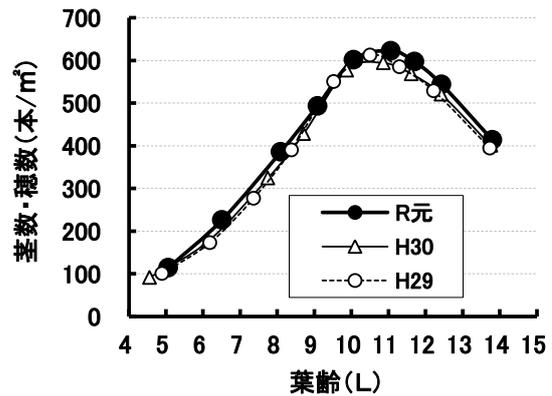


図2 茎数の推移（富富富実証ほ）

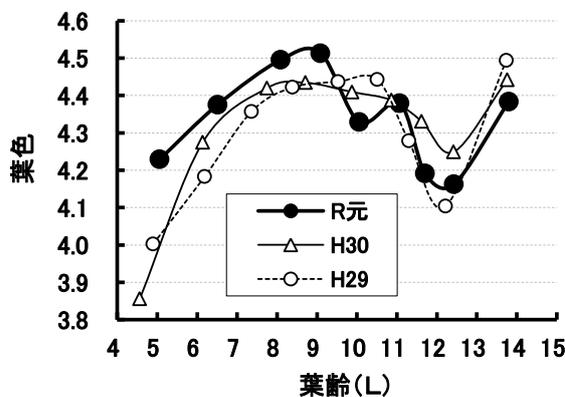


図3 葉色の推移（富富富実証ほ）

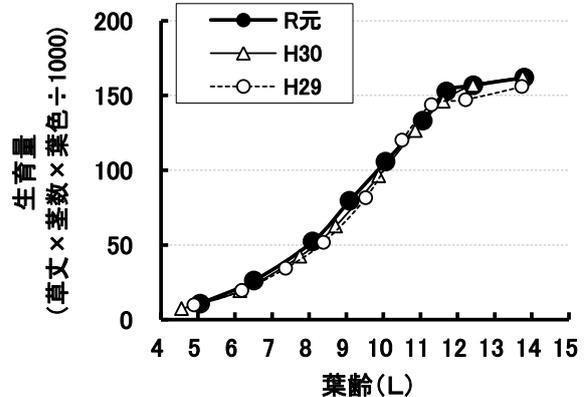


図4 生育量の推移（富富富実証ほ）

2 当面の技術対策

(1) 出穂後の気象条件と登熟状況

- ① 8月3日に出穂した「富富富」の出穂後20日間の平均気温は28.9℃（前年差+1.6℃）と、前年より高かった。
- ② 出穂後20日間の平均日射量は18.8MJ/m²/day（前年比102%）と、前年並みであった。
- ③ 刈取始期である籾黄化率80%（積算温度1050℃）に達するまでの日数は出穂から39日程度（8月3日出穂の場合、9月11日頃）と見込まれる。

表2 「富富富」の生育ステージと登熟期間の気象条件（富富富実証ほ）

年次	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	登熟日数 (日)	積算温度 (℃)	出穂後の平均気温(℃)			出穂後20日間の 日射量(MJ/m ² /day)	穂揃期 群落葉色
					1~10日	11~20日	1~20日		
R元	8/3	(9/13)	(41)	(1100)	29.8	28.0	28.9	18.8	4.4
H30	8/2	9/12	41	1084	27.6	27.0	27.3	18.4	4.4
H29	8/3	9/15	43	1091	27.5	26.4	27.0	15.9	4.5
前年差・比	1	(1)	(0)	(16)	2.2	1.0	1.6	102	0.0

注1) 気象データは、富山地方気象台による

注2) R元年の登熟期間の積算気温は8月26日以降の気温が平年並(H21~30)として計算した。

(2) 当面の技術対策

- ・ 刈取り5~7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持に努める。
- ・ 籾の黄化が進んだものから遅れずに刈取りを開始し、胴割米の発生を防止する。
- ・ 未熟粒等の混入を防ぐため、1.9mmの篩目を使用するとともに、色彩選別機を整備している地域では、積極的にその活用を図る。

- ① 刈取り5~7日前まで間断かん水を行う。また、収穫予定日頃にフェーンが予想される場合はフェーンの前に刈取る。一方、収穫時期まで日数があるほ場は入水を行う。地耐力確保のため、速やかな排水が図られるよう、手溝の点検等を行う。
- ② 籾の黄化が進んだものから遅れずに刈取りを開始し、胴割米の発生を防止する。
籾黄化率80%（積算気温約1050℃）を目安に刈取りを開始する。
なお、出穂後20日間の日平均気温が28.9℃と極めて高い気温で推移したことから、籾黄化率85~90%で刈り終えるようにする。また、今後の気象情報やほ場ごとの籾黄化状況に注意するとともに、コシヒカリなど他品種の登熟状況や生産者の収穫・乾燥作業能力を考慮し、作業計画を立てる。

表3 「富富富」の刈取時期の目安

出穂期 (月/日)	(籾黄化率)	
	80%	85%
	(積算気温)	約1050℃
8/1		約1100℃
8/3		9月8日頃
		9月11日頃
8/5		9月13日頃
		9月16日頃

注) 表中の月日は、8/26以降の平均気温が平年並

(H21~30)として予測した。

- ③ その他の収穫・乾燥調製作業は、コシヒカリに準じて実施する。